



2017年1月2日（月）～ 3月21日（火）  
アジアギャラリー

誰かに扮して、別の世界に生きてみる。

本展では、美術作家自身が別の誰かに姿を変えて、写真の世界に登場する作品や、現実には存在しない世界を人工的に作り上げる演出写真など、アジアの写真作品、約30点を紹介します。

さまざまな情景や場面に作家自身が扮装して登場するセルフ・ポートレート（自画像）的な表現方法は、1970年代後半から活躍するアメリカのシンディー・シャーマン（1954-）や日本の森村泰昌（1951-）の有名絵画の登場人物や有名人に扮した写真作品で知られています。しかし、本展で紹介するアジアの作家たちは、いかに上手く変身し何者かの肖像となるかよりも、扮することによって自分が置かれている国や社会の困難な現実を新たな視点で見出そうとしています。

スリランカのプラディーブ・タラワッタは、宗教対立による長い内戦で破壊された道路に、仏教徒の作者がヒンドゥー寺院の聖なる模様の布をまとしてまっすぐに立ち、戦後社会の行方を見すえようとしています。ミャンマーの女性作家、ニエレイは男性に扮し、父親のいない家族のために父親となって記念撮影をします。また、韓国のニッキー・リーは、アメリカのさまざまな集団に溶けこもうと、自身の姿をカメレオンのように多彩に変化させて写真に映り込みます。

美術作家が見せる写真世界と現実のはざまには、一体どんな世界が広がっているのでしょうか。



©1979, Muna Tseng Dance Projects, Inc. New York www.tsengkwohngchi.com

▲ ツェン・クオンチ（曾広智）（中国）  
「遠征する自画像シリーズ：ニューヨーク（自由の女神）」  
ゼラチンシルバープリント、1979年

## 作品リスト

- ▲ プラディーブ・タラワッタ（スリランカ）  
「道景（ロードスケープ）」  
デジタルCタイププリント・光沢紙、アルミ複合版マウント、2012（2014）年
- ▲ チー・パン（遅鵬）（中国）  
「太陽」  
デジタルCタイププリント、2004年
- ▲ ツェン・クオンチ（曾広智）（中国）  
「遠征する自画像シリーズ」  
フロリダ（ケープ・カナベラル） 1985年  
ニューヨーク（世界貿易センター） 1979年  
ニューヨーク（自由の女神） 1979年  
サンフランシスコ（ゴールデンゲート橋） 1979年  
鎌倉（大仏） 1988年  
ゼラチンシルバープリント
- ▲ ニエレイ（ミャンマー）  
「制限された事柄の関係性-2、4、6」  
インクジェットプリント、2010（2012）年
- ▲ ニエレイ（ミャンマー）  
「死んでいる自己の観察-10」  
インクジェットプリント、2011（2012）年
- ▲ ハン・ティ・ファム（ベトナム）  
「であるということは #1、#3、#4」  
Rタイププリント、1985年
- ▲ チェン・チンヤオ（陳擎耀）（台湾）  
「I♥NY Series」  
ル・ブフ・ア・ラ・モード、アッパーイーストサイド  
スター・オン・18、チェルシー  
ディム・サム・ゴーゴー、チャイナタウン  
パパツール、ソーホー  
デジタルCタイププリント、2009年
- ▲ チェン・チンヤオ（陳擎耀）（台湾）  
「レストラン・プロジェクト in 福岡」  
博多ラーメン/三丸ラーメン・どこを見て？  
喫茶店/琥珀館・これはナポリタンじゃない！  
デジタルCタイププリント、2012年
- ▲ ニッキー・リー（韓国）  
「ヒップホップ・プロジェクト（19）」 2001年  
「バンク・プロジェクト（7）」 1997年  
「エキゾチック・ダンサー・プロジェクト（4）」 2000年  
「ヤング・ジャパニーズ・プロジェクト（6）」 1997年  
「スケートボーダー・プロジェクト（22）」 2000年
- ▲ ティファニー・チュン（ベトナム）  
「オレンジと青の遊び玉」  
「至福への近道」  
「ゴルフコースでライムの果実の箱を引く」  
デジタルCタイププリント・MDFパネル、2004年



ニッキー・リー（韓国）▶  
「スケートボーダー・プロジェクト（22）」  
Cタイププリント、2000年